

令和7年度 第30期もりメイト育成講座 講座レポート

①開講式・講義

| | |
|--------------|--|
| 日 時 | 令和7年6月21日（土） 9:30～11:30 |
| 場 所 | 広島市農業振興センター（安佐北区深川八丁目） |
| 講 師 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラー 和田秀次 ・林業家 今田 新 |
| 内 容 | <p>61名の応募があり、抽選で選ばれた30名により「第30期もりメイト育成講座」がスタートしました。</p> <p>開講式後、2つの講義を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★講義1「森林の現状と課題」 森林の歴史や、現在抱えている問題などについて ★講義2「受講にあたって」 全9回の講座の内容と、山仕事の心構え、服装、道具について |



②下刈り・樹木学

| | |
|---------------------|---|
| 日 時 | 令和7年7月12日（土） 9:00～14:00 |
| 場 所 | ひろしま市民の里@安佐（安佐北区安佐町大字久地） |
| 講 師 指導員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラー 和田秀次 ・林業家 今田 新 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>長柄鎌を使って、令和4年度を受講生が植林した4年生のコウヨウザンの苗木と令和5年度を受講生が植林した3年生のスギの苗木（2種各150本）の生育を妨げる0.15haの雑草を刈り払いました。梅雨明けの蒸し暑い中での作業でしたが、作業後には苗木の周りがきれいになりました。下刈り作業の後は鎌の刃を研ぎました。</p> <p>午後からは、コナラ・ナラガシワ・ノグルミなど樹木の名前や特徴を学びました。</p> |



③間伐（講習）

| | |
|---------------------|--|
| 日 時 | 令和7年9月13日（土） 10:00～15:00 |
| 場 所 | 広島市農業振興センター（安佐北区深川八丁目） |
| 講 師 指導員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・安芸北森林組合 鍔山幸二 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>午前にはチェーンソーの取扱い、間伐の意義や方法などについての講義を受けました。</p> <p>午後からはチャップス・防振手袋などの防護具を身に付けて丸太の玉切りと受け口・追い口を作る練習を行いました。</p> <p>チェーンソーを初めて取扱った受講生が多く、難しさを感じる場面がありましたが、基本を学び明日の実習へ備えました。</p> |



④間伐（実習）

| | |
|---------------------|---|
| 日 時 | 令和7年9月14日（土） 10:00～15:00 |
| 場 所 | 鉾取山憩の森（安芸区中野東町） |
| 講 師 指導員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・佐伯森林組合 折本義浩、中橋智也、廣兼大瑚 ・安芸北森林組合 辰川佑治、徳永悦二 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>前日の練習を振り返りながら、35年生のヒノキの立木の伐倒・玉切り・枝払いを、チェーンソーを用いて行いました。実際の山では、足元が悪かったり、伐倒した木が周囲の木にかかったり、前日の講習とは違う難しさがありましたが、一人1本は伐倒することができました。</p> <p>ヒノキの間伐は、かかり木が起こりやすく、ロープなどを使用して安全に処理できました。</p> |



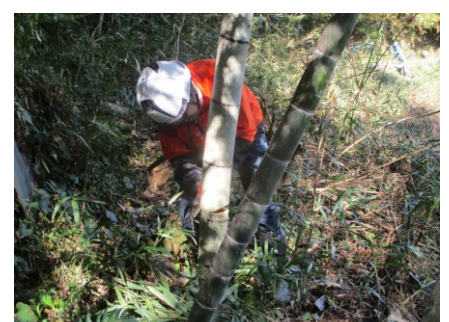
⑤森林ボランティア体験

| | |
|--------------|---|
| 日 時 | 令和7年10月26日（日） 9:00～14:00 |
| 場 所 | 妙國寺裏山（安佐北区白木町大字秋山） |
| 指導員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠 |
| 内 容 | <p>NPO法人もりメイト倶楽部Hiroshimaの活動に「森林ボランティア体験」として参加しました。</p> <p>もりメイト倶楽部山本理事長から、作業現場の説明を受けた後、班ごとに分かれ、階段作り、里道の整理、枯れた竹の整理などの作業をそれぞれ行いました。</p> <p>指導員や会員から、伐倒した木の使い道を考え、玉切りの長さをあらかじめ決めておくなど、作業効率を考えた森林整備の重要性などを教えてもらいました。</p> |



⑥竹林整備

| | |
|---------------------|--|
| 日 時 | 令和7年11月8日（土） 10:00～15:00 |
| 場 所 | ひろしま市民の里@安佐（安佐北区安佐町大字久地） |
| 講 師 指導員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラー 和田秀次 ・山海環 谷川裕之 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>竹挽鋸を使ってモウソウチクの間伐を行いました。古くなった4年生以上の竹から伐採し、伐った竹の枝を払い、玉切、集積をしました。</p> <p>伐った竹が残った竹に掛かるなど、スムーズに伐倒できない場面がありましたが、平均して一人あたり8～9本を処理し、全体では245本の竹を処理することができました。</p> |



⑦植林

| | |
|-----------------------|--|
| 日 時 | 令和7年12月6日（土） 10:00～15:00 |
| 場 所 | 私有林（安佐南区沼田町大字吉山） |
| 講 師 指 導 員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・林業家 今田 新 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>午前中は、今田講師から植林しやすいように伐採木等を整理・配列する作業である「地拵え」の説明を受けた後、約0.06haの作業を行いました。カラスザンショウやタラなどトゲの鋭い植物が多く、大変な作業でしたが、等高線上に棚積みを行いました。</p> <p>午後からは、苗木の「植付け」の説明を受けた後、スギ苗150本の植付けました。</p> |



⑧枝打ち

| | |
|-----------------------|--|
| 日 時 | 令和8年1月10日（土） 10:00～15:00 |
| 場 所 | 私有林（安佐南区沼田町大字吉山） |
| 講 師 指 導 員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・広島市森林組合 今田 新 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>材木の形質向上や森林の保護を目的に枝を取り除く「枝打ち」を11年生のスギ林で行いました。</p> <p>地際から2mの高さまで、全ての枝をノコを用いて切り落とし、樹皮がめくれ材の価値が下がらないよう、気を付けて作業をしました。</p> <p>講師や指導員のアドバイスを受けながら、効率的に作業を行いました。全体を通し、0.38haの面積の立木1,080本の枝を処理しました。</p> |



⑨里山整備

| | |
|-----------------------|--|
| 日 時 | 令和8年2月14日（土） 10:00～15:00 |
| 場 所 | ひろしま市民の里@安佐（安佐北区安佐町大字久地） |
| 講 師 指 導 員 (敬称略) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラー 和田秀次 ・林業家 今田 新 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、鎌田 要、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | <p>里山整備の目標を「しいたけの原木の森を作る。」「花を見ながら散策を楽しめる場所にする。」ことに定め、ノコとナタを使って整備を行いました。ヒサカキなどの常緑樹を優先して切り、コナラ、コバノミツバツツジ、ヤマザクラなどの落葉樹はなるべく残すことにしました。</p> <p>伐った木は枝払い、玉切りをして棚積みしました。</p> <p>昼時には講師から、常緑樹の名前や特徴についての講義を受けました。</p> |



修了式（参加者：30期20名）

| | |
|---------------------|--|
| 日 時 | 令和8年3月7日（土） 10:00～12:00 |
| 場 所 | ひろしま市民の里@安佐（安佐北区安佐町大字久地） |
| 講 師 指導員 (敬称略) | ・林業家 今田 新 ・もりメイト倶楽部Hiroshima 川原正二、岩田幸信、見勢井誠、吉村隆文 |
| 内 容 | 受講生30人のうち、28人が修了しました。 修了生からは、講座を通じて「森林を適切に維持管理する意義、重要性を認識することができた。」、「山仕事の大変さ、厳しさ、楽しさを体験し良い経験となった。」、「講座は全て終わったが、指導員から『これからがスタート』と言われ、まさにそうだと思った。これからはボランティア等に参加したい。」などの声が聞かれました。 |

